

牛のヨーネ病にご注意を！！

【ヨーネ病とは？】

牛、めん羊、山羊、鹿などの反芻動物がヨーネ菌に感染して起こる病気です。通常、数年に及ぶ長い潜伏期間を経て発症し、家畜伝染病の中でも特に経済被害の大きい病気です。しかし、ワクチンや治療方法はなく、予防が重要です。

【症状・特徴】

- 間欠的な下痢から、やがて慢性の頑固な水様性下痢となり、乳量の低下や極度の消瘦がみられます。
- 発症牛は衰弱し死に至ることもあります。
- 感染牛は下痢を示す前にも糞便に大量のヨーネ菌を排出することがあり、ひそかに病気が広がります。
- 子牛の時期に最も感染しやすく、子宮内で胎子が感染することもあります。



やせ細り、水様性の下痢をするヨーネ病の発症牛。（動物衛生研究部門 HP より）

【感染経路】

- ヨーネ菌に感染した牛の導入により、ヨーネ菌が農場に侵入します。
⇒ 感染牛の糞便や乳汁並びに汚染飼料等が感染源となり、未感染牛（特に子牛）がそれらの汚染物を口から摂取し感染します。

【防疫対策】

- 県外から牛を導入する際は、ヨーネ病検査を受けましょう。
- 牛舎内のこまめな清掃、消毒や踏込み消毒槽の設置、牛舎専用の長靴使用など飼養衛生管理を徹底しましょう。
- 農場への出入りの際には、車両のタイヤや下回りを消毒しましょう。

ヨーネ菌は、いったん農場内に広がると完全に排除するまでに非常に時間がかかります。ヨーネ菌を農場に侵入させないよう、牛を導入する際には、積極的にヨーネ病検査を受けましょう！！

まずは検査を！

- 詳しい対策や検査については各家畜保健衛生所にお問い合わせください。

家畜保健衛生所では県外導入牛のヨーネ病検査を無料で実施しています。

預託農場からの帰場牛も含め、県外導入牛は必ず検査を受けましょう。

(1) 対象：搾乳又は繁殖の用に供する目的で県外から導入した牛

(2) 申込み：導入が決まり次第（1週間前までに）、①導入予定日、②導入頭数を家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。

(3) 検査材料：糞便1～5g（採材は獣医師、農協等に依頼し当所まで送付又は持参）

(4) 検査料金：無料（獣医師等による採材に係る経費は自己負担）

毎月1日は、「消毒・点検の日」

～病気の侵入を防ぐためには、
地域全体の取組が効果的です！～



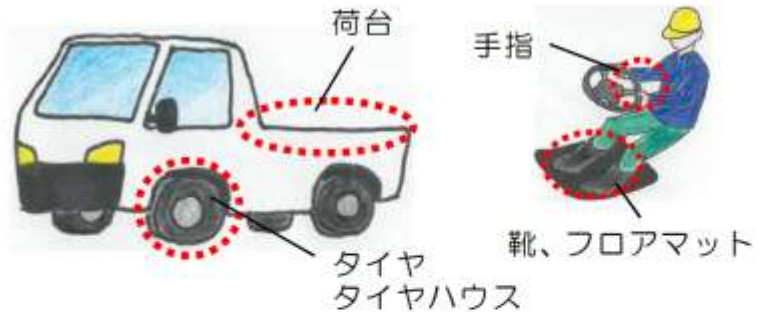
定期的に、一斉消毒を行うとともに、日頃の消毒方法や実施状況を確認して、
家畜の伝染病の侵入を防ぎましょう。

消毒を徹底しましょう！



いつもの消毒の方法は適切ですか？

- 入場車両の消毒は？
- 消毒前の洗浄（汚れの徹底除去）は？
- 消毒液の時期、回数、濃度は？



「やっかつもり」をなくしましょう！

- 長靴の裏に、汚れはついていませんか？
- 踏込消毒槽が汚れた水槽になっていませんか？
- いつ、だれが消毒したか記録はありますか？



お互いに、作業内容を確認して、「やっかつもり」をなくしましょう！

岩手県中央家畜保健衛生所
岩手県県南家畜保健衛生所
岩手県県北家畜保健衛生所

Tel:019-688-4111
Tel:0197-23-3531
Tel:0195-49-3006